

令和6年度「全国学力・学習状況調査」の結果について＜資料＞

令和6年4月18日（木）に全国一斉に実施された「全国学力・学習状況調査」（以下「全国調査」）について、京都市立学校の状況をお知らせいたします。

国語、算数・数学の平均回答率は小学校及び中学校とも全国の公立学校の平均（以下「全国平均」）を上回る良好な結果となりました。

1 調査の概要

- (1) 実施日 令和6年4月18日（木）
- (2) 対象学年 小学校第6学年、小中学校第6学年、総合支援学校小学部第6学年
中学校第3学年、小中学校第9学年、総合支援学校中学部第3学年
- (3) 実施教科等
- ① 教科（国語、算数・数学）に関する調査
 - ② 児童生徒質問紙調査 生活習慣や学習環境等に関する調査
 - ③ 学校質問紙調査 学校における指導方法や教育条件の整備の状況等に関する調査
- (4) 実施市立学校数・参加人数

	実施学校数	参加人数
小学校調査	159校（小中学校8校・総合支援学校1校含む）	9,172人
中学校調査	71校（小中学校7校・総合支援学校1校含む※） ※宕陰小中学校（後期課程）・洛友中学校を除く	8,030人

2 教科に関する調査の結果について

(1) 小学校調査

小学校の平均正答率は、全国平均を国語は4.3ポイント、算数は4.6ポイント上回るなど、良好な結果となっています。また、本調査が開始された平成19年度以降、全国平均を上回っています。

また、無解答率については、2教科とも全ての設問において、全国平均を下回る結果となっており、子どもたちが最後まで諦めずに粘り強く解答しようとする姿勢がうかがえます。

◆公立学校の平均正答率・指数

	国語				算数			
	設問数	平均正答率	指数	標準偏差	設問数	平均正答率	指数	標準偏差
京都市	14	72 (+4.3)	106.4	2.9	16	68 (+4.6)	107.3	3.8
全 国		67.7	100.0	3.1		63.4	100.0	3.9

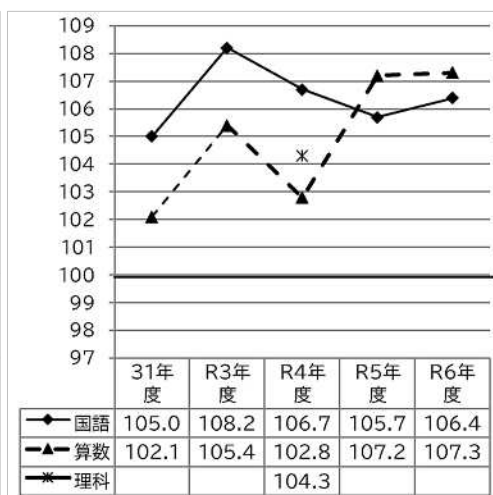
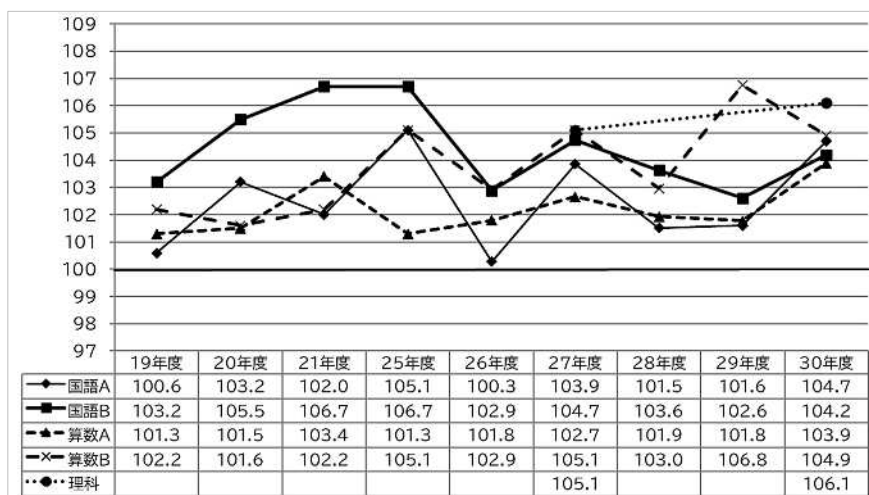
※ 指数…全国（公立）の平均正答率を100とした場合の京都市の平均正答率の値

※ 京都市の数値の下（ ）内は全国値との差

※ 標準偏差…集団のデータの平均値からの離れ具合（散らばりの度合い）を表す数値。

標準偏差が小さい場合、データのばらつきが少ない（児童ごとの正答率の差が小さい）ことを意味する。

◆本市の指数の経年変化



- ※ 平成 22 年度、24 年度は抽出調査のため除く。
- ※ 平成 23 年度は東日本大震災のため中止。令和 2 年度は新型コロナウイルス感染症のため中止。
- ※ 理科（小・中）は平成 27 年度以降、3 年に 1 度実施。
- ※ 平成 31 年度（令和元年度）調査より、従来の A・B 問題が統合されたため別表とする。

◆分析・問題例

<国語>

- 平均正答率は、全ての問題で全国平均を上回り、全体では 4.3 ポイント上回っています。
- 領域別では、全国的な傾向と同様、「話すこと・聞くこと」において、その他の領域（「書くこと」「読むこと」「言葉の特徴や使い方に関する事項」「情報の扱い方に関する事項」）と比較すると低い正答率でした。

正答率が低かった問題例

- 大問 1 ◆オンラインで交流する場面における登場人物の話し方の工夫として適切なものを選択する。

- ・二（2） 資料を活用するなどして自分の考えが伝わるように表現を工夫することができるかどうかをみる問題（選択問題）

正答率 **56.5%**（全国平均 **52.9%**） 無解答率 0.1%（全国平均 0.7%）

<算数>

- 平均正答率は、全ての問題で全国平均を上回り、全国平均を 4.6 ポイント上回っています。
- 領域別では、全国的な傾向と同様、「変化と関係」において、その他の領域（「数と計算」「図形」「データの活用」）と比較すると低い正答率でした。

正答率が低かった問題例

- 大問 4 ◆家から学校までの道のりが等しく、かかった時間が異なる二人の速さについて、どちらが速いかを判断し、そのわけを書く

- ・（3）道のりが等しい場合の速さについて、時間を基に判断し、その理由を言葉や数を用いて記述できるかをみる。（記述式）

正答率 **39.3%**（全国平均 **31.0%**） 無解答率 1.3%（全国平均 2.4%）

(2) 中学校調査

中学校の平均正答率は、全国平均を国語は 1.9 ポイント、数学は 0.5 ポイント上回り、良好な結果となっています。平成 26 年度以降、国語、数学において全国平均以上となっております。

さらに、無解答率が全国平均と同等または下回る結果となっており、子どもたちが最後まで諦めずに解答しようと取り組んだ姿勢がうかがえます。

◆公立学校の平均正答率・指数

	国語				数学			
	設問数	平均正答率	指数	標準偏差	設問数	平均正答率	指数	標準偏差
京都市	15	60 (+1.9)	103.3	3.4	16	53 (+0.5)	101.0	4.1
全 国		58.1	100.0	3.4		52.5	100.0	4.1

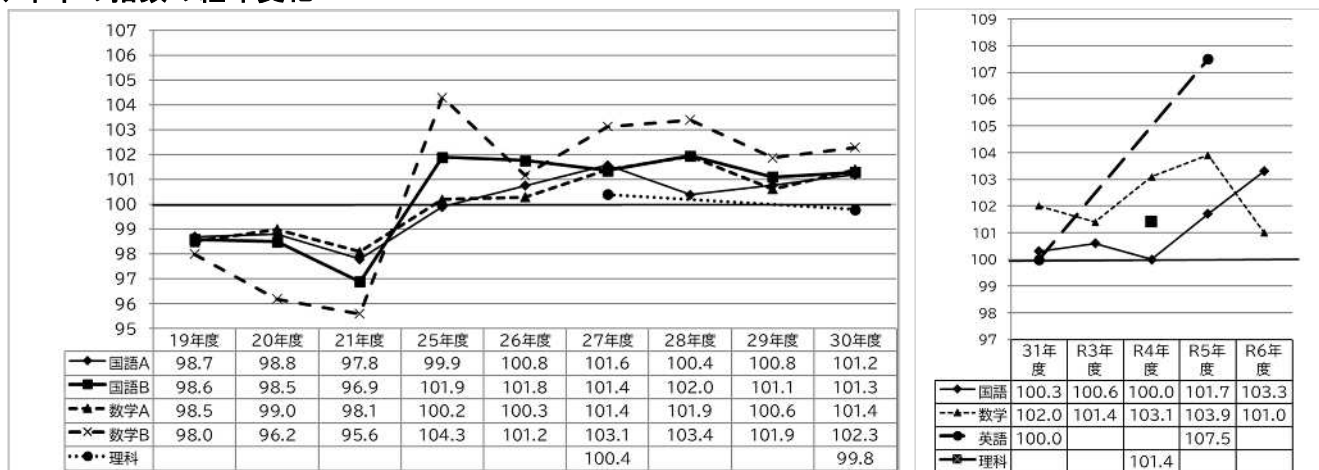
※ 指数…全国（公立）の平均正答率を 100 とした場合の京都市の平均正答率の値

※ 京都市の数値の下の（ ）内は全国値との差

※ 標準偏差…集団のデータの平均値からの離れ具合（散らばりの度合い）を表す数値。

標準偏差が小さい場合、データのばらつきが少ない（生徒ごとの正答率の差が小さい）ことを意味する。

◆本市の指数の経年変化



※ 平成 22 年度、24 年度は抽出調査のため除く。

※ 平成 23 年度は東日本大震災のため中止。令和 2 年度は新型コロナウイルス感染症のため中止。

※ 理科（小・中）は H27 以降、3 年に 1 度実施。英語（中のみ）は、H31（R1）以降、3 年に 1 度実施予定。

※ 平成 31 年度（令和元年度）調査より、従来の A・B 問題が統合されたため別表とする。

◆分析・問題例

<国語>

- 平均正答率は、全国平均を 1.9 ポイント上回っています。
- 領域別では、全国的な傾向と同様、「読むこと」において、その他の領域（「話すこと・聞くこと」「書くこと」「情報の扱い方に関する事項」「言葉の特徴や使い方に関する事項」「我が国の言語文化に関する事項」）と比較すると低い正答率でした。

正答率が低かった問題例

■大問 2 ◆本文中の図の役割を説明したものとして適切なものを選択する。

- ・一 文章と図を結び付け、その関係を踏まえて内容を解釈することかできるかどうかをみる。（選択式）

正答率 **38.2%**（全国平均 **36.3%**） 無解答率 0.2%（全国平均 0.5%）

<数学>

- 平均正答率は、全国平均を 0.5 ポイント上回っています。
- 領域別では、全国的な傾向と同様、「図形」において、その他の領域（「数と式」「関数」「データの活用」）と比較すると低い正答率でした。ただし、一番回答率が低い問題は「関数」の問題でした。

正答率が低かった問題例

■大問 9 ◆図形

- ・(1) 重なり合う二つの三角形の頂点が移動する時、指定された 2 辺が等しいことを筋道立てて考え、証明することができるかどうかみる。(記述式)
正答率 **26.8%** (全国平均 **25.8%**) 無解答率 29.9% (全国平均 33.6%)

■大問 8 ◆関数

- ・(2) ストープの使用時間と灯油の残量のグラフを見て、事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができるかどうかをみる。(記述式)
正答率 **19.3%** (全国平均 **17.1%**) 無解答率 11.4% (全国平均 16.4%)

3 児童生徒質問紙調査等の結果について

特徴が見られた質問を抽出して掲載しています。質問は年度ごとに異なるため、データがない年度があります。

(1) 生活習慣・学習習慣等

「朝食を毎日食べていますか」という問いと各教科の正答率の間に、相関関係（※質問に対する回答が肯定的であるほど正答率が高い関係）が小・中学生ともに見られました。

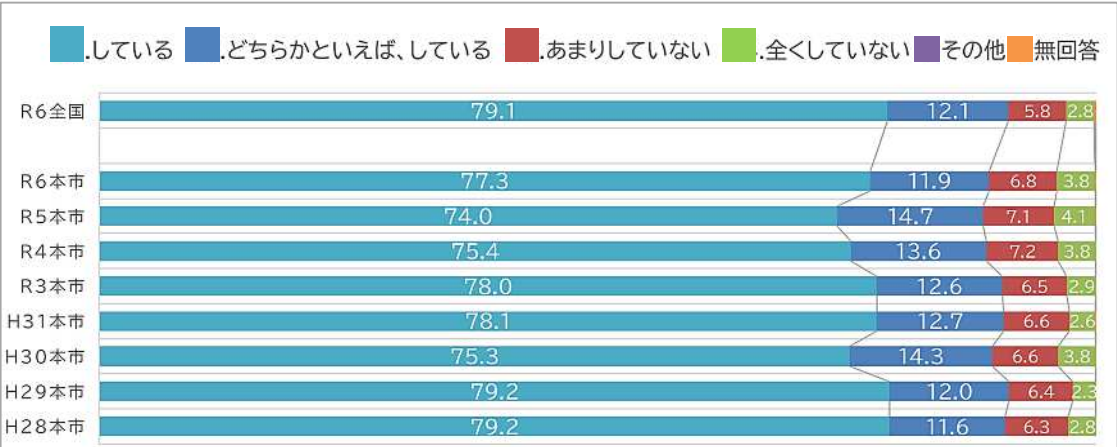
学習習慣に関する質問については、「平日の学習時間」及び「土日の学習時間」は、「平日3時間以上」「土日4時間以上」など、多くの時間を学習に向けている子どもも多くいる一方で、「平日30分より少ない」「土日1時間より少ない」と回答する子どももあり、特に中学生においてその割合が全国平均と比較しても多くなっています。

○朝食を毎日食べていますか

【小学生】



【中学生】



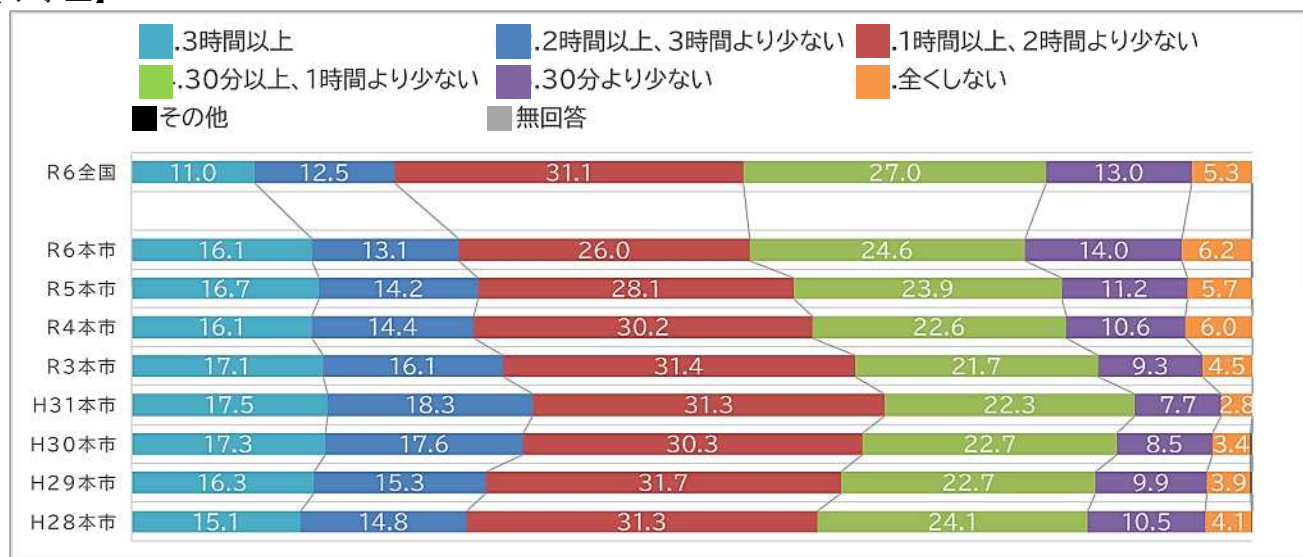
【クロス集計】（単位：％）

※その他・無回答を除くため、児童生徒数の割合の合計は必ずしも100％とはならない。クロス集計の対象は教科に関する調査（国語、算数・数学）を一つ以上実施し、かつ、児童生徒質問紙調査を実施した児童生徒であるため、児童生徒数割合が上記グラフと一致しない場合がある。（以下同じ）

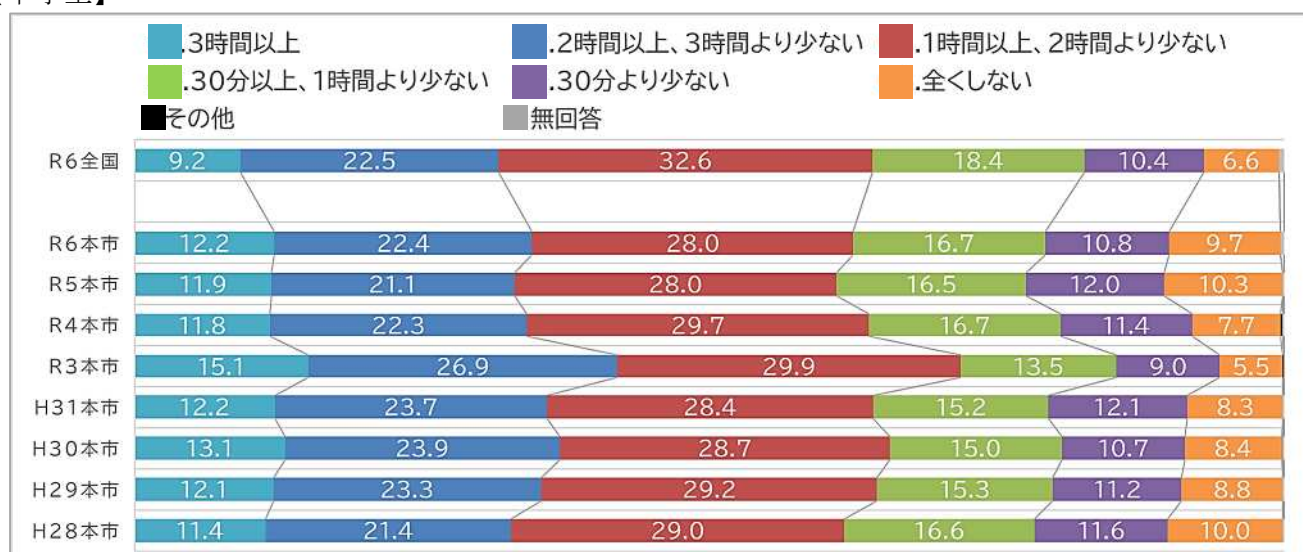
朝食を毎日食べていますか	本市立小学校			本市立中学校		
	児童数割合	平均正答率		生徒数割合	平均正答率	
		国語	算数		国語	数学
食べている	83.8	73.5	70.3	77.9	62.5	56.4
どちらかといえば、食べている	9.7	67.4	62.1	11.7	57.1	48.0
あまり食べていない	4.8	59.5	52.8	6.6	52.2	43.2
全く食べていない	1.7	58.9	54.7	3.7	52.5	41.8

○学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか
（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）

【小学生】



【中学生】

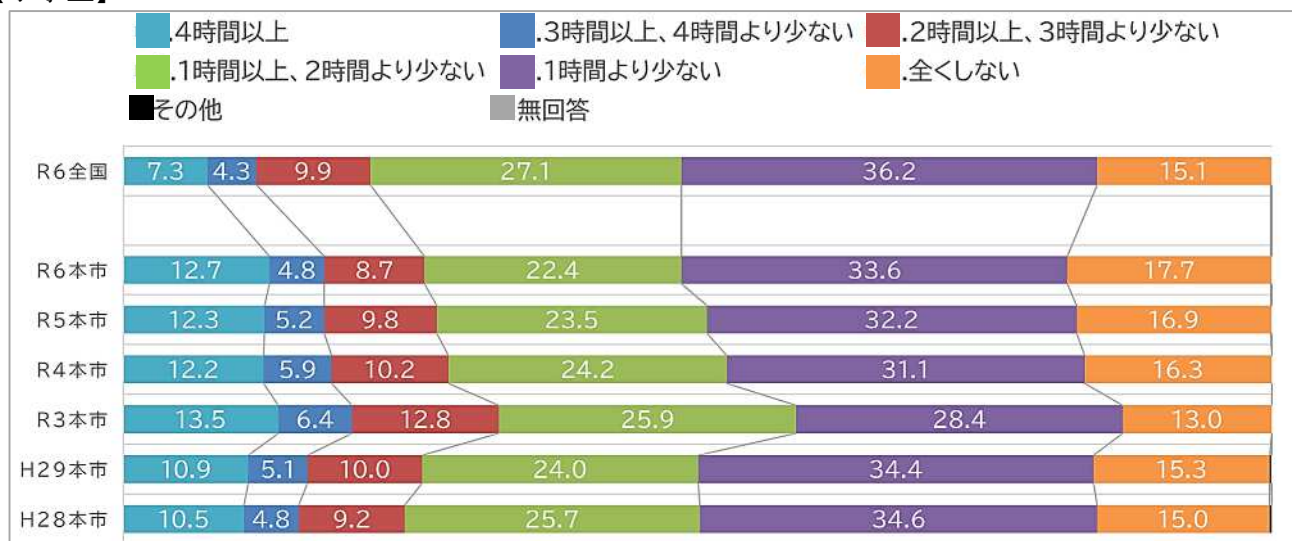


【クロス集計】（単位：％）

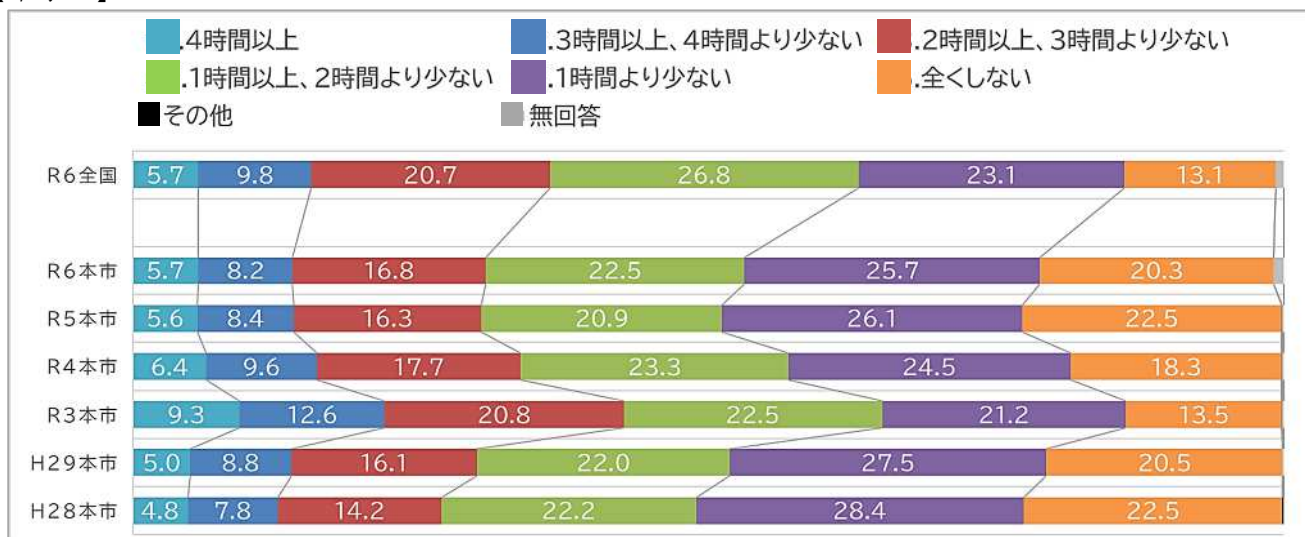
学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか	本市立小学校			本市立中学校		
	児童数割合	平均正答率		生徒数割合	平均正答率	
		国語	算数		国語	数学
3時間以上	16.2	80.6	82.1	12.3	64.5	59.8
2時間以上、3時間より少ない	13.2	74.2	70.7	22.6	64.4	59.2
1時間以上、2時間より少ない	26.0	72.7	68.4	28.0	61.7	54.9
30分以上、1時間より少ない	24.5	70.2	65.6	16.7	60.7	53.0
30分より少ない	14.0	66.8	61.1	10.7	56.5	47.5
全くしない	6.1	59.5	55.2	9.5	50.6	40.5

○土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）

【小学生】



【中学生】

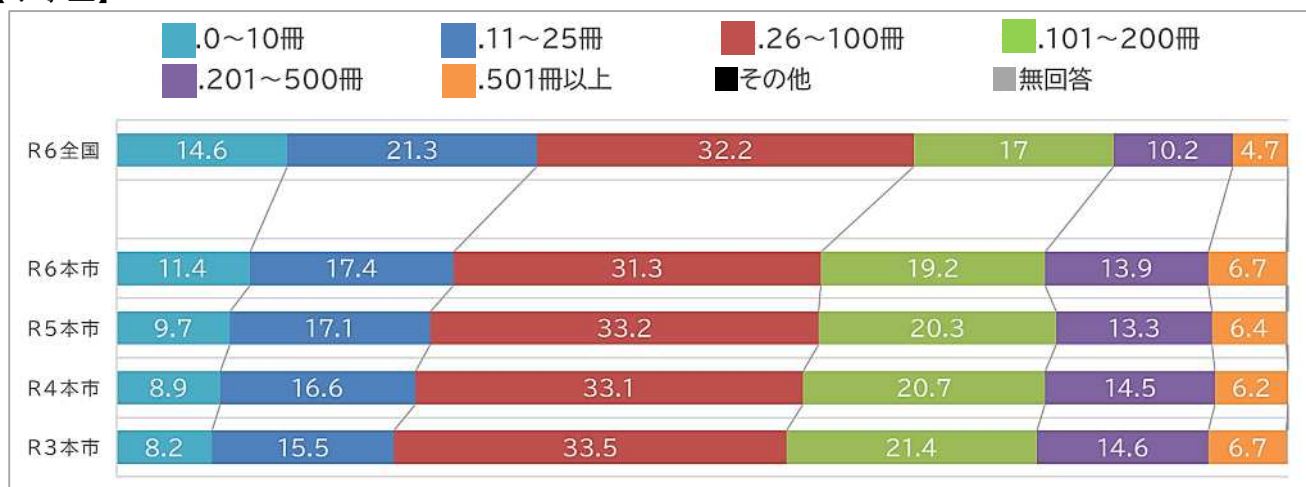


【クロス集計】（単位：％）

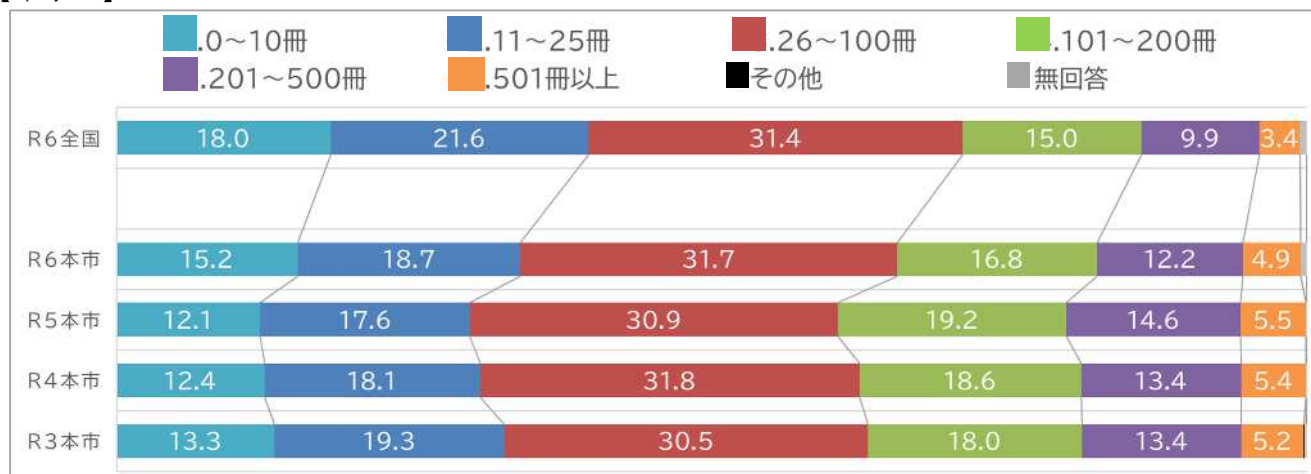
土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか	本市立小学校			本市立中学校		
	児童数割合	平均正答率		生徒数割合	平均正答率	
		国語	算数		国語	数学
4時間以上	12.8	83.1	86.0	5.7	65.4	63.4
3時間以上、4時間より少ない	4.8	74.7	72.9	8.3	68.8	65.5
2時間以上、3時間より少ない	8.6	73.7	70.5	16.8	65.4	60.1
1時間以上、2時間より少ない	22.4	72.1	68.0	22.6	62.1	54.9
1時間より少ない	33.7	70.3	65.7	25.7	59.9	51.6
全くしない	17.6	65.3	59.3	19.9	52.5	43.7

○あなたの家には、およそどれくらいの本がありますか（一般の雑誌、新聞、教科書は除く）

【小学生】



【中学生】



【クロス集計】（単位：％）

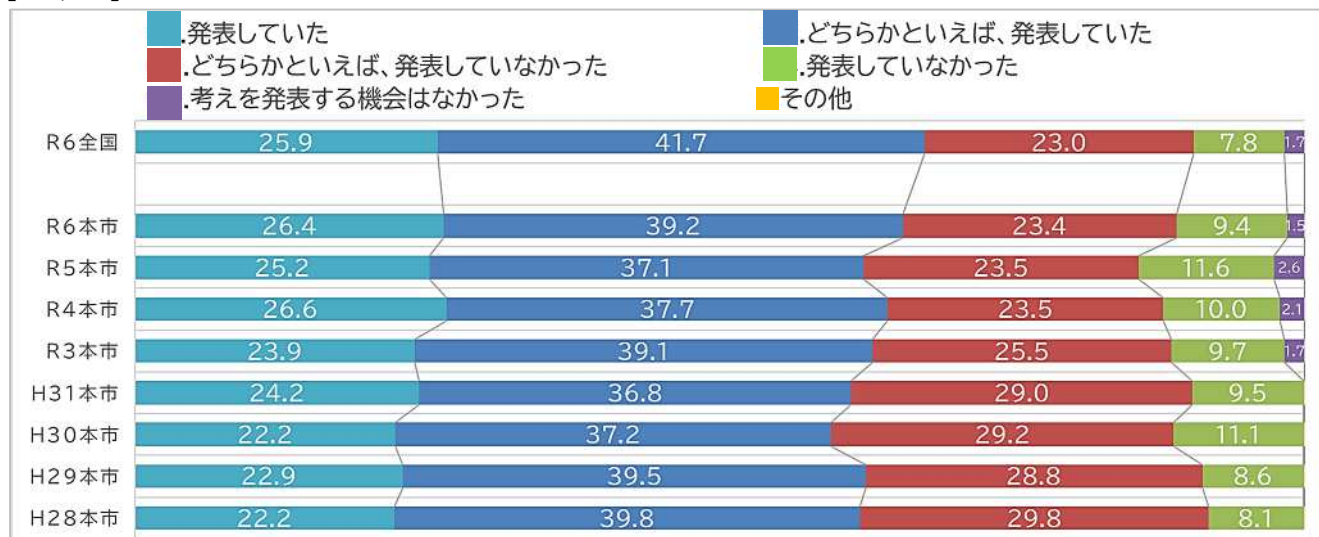
あなたの家には、およそどれくらいの本がありますか	本市立小学校			本市立中学校		
	児童数割合	平均正答率		生徒数割合	平均正答率	
		国語	算数		国語	数学
0～10冊	11.3	58.6	52.5	15.2	49.0	41.1
11～25冊	17.3	67.1	61.0	18.8	57.0	49.3
26～100冊	31.4	72.9	69.3	31.6	62.1	55.1
101～200冊	19.2	76.1	73.6	16.9	64.7	58.3
201～500冊	14.0	78.7	77.5	12.1	69.3	63.7
501冊以上	6.8	76.6	76.3	4.9	70.8	66.5

（２）授業改善に関する質問（主体的・対話的で深い学び）

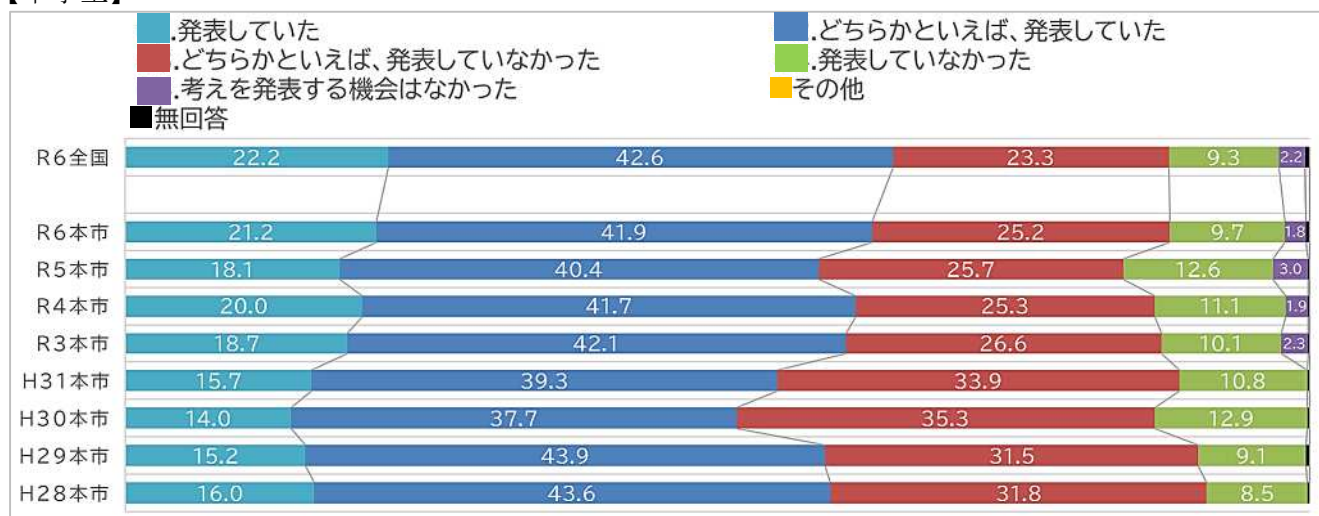
各教科の正答率との相関関係が高い質問であることが確認できます。本市の状況としては年々改善してきており、授業改善の取組が進んでいることがうかがえます。ただし、全国と比較するとまだ低い水準にとどまっている部分もあります。

○５年生までに（１、２年生のときに）受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか

【小学生】



【中学生】

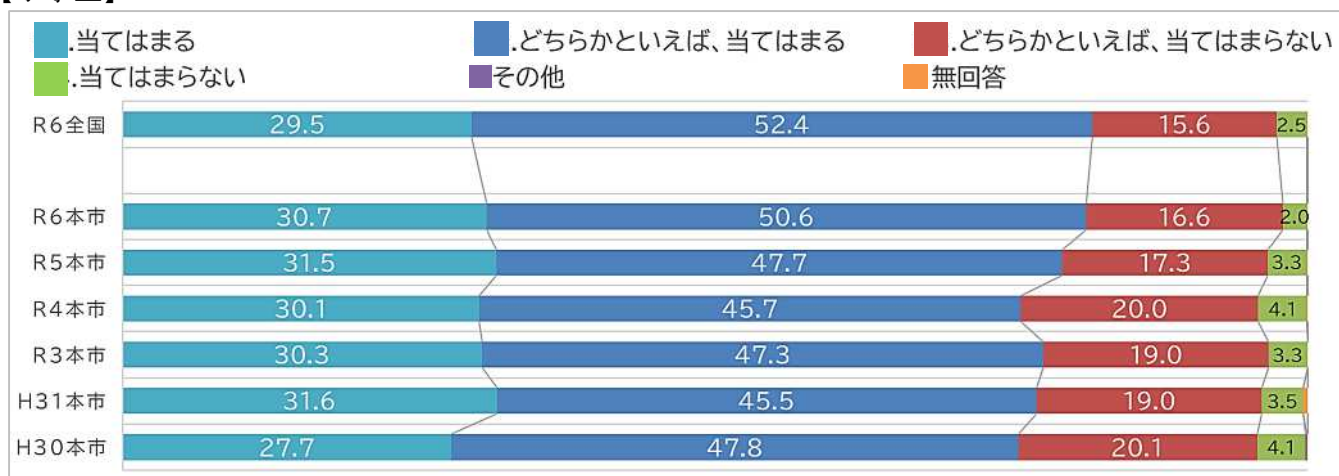


【クロス集計】（単位：％）

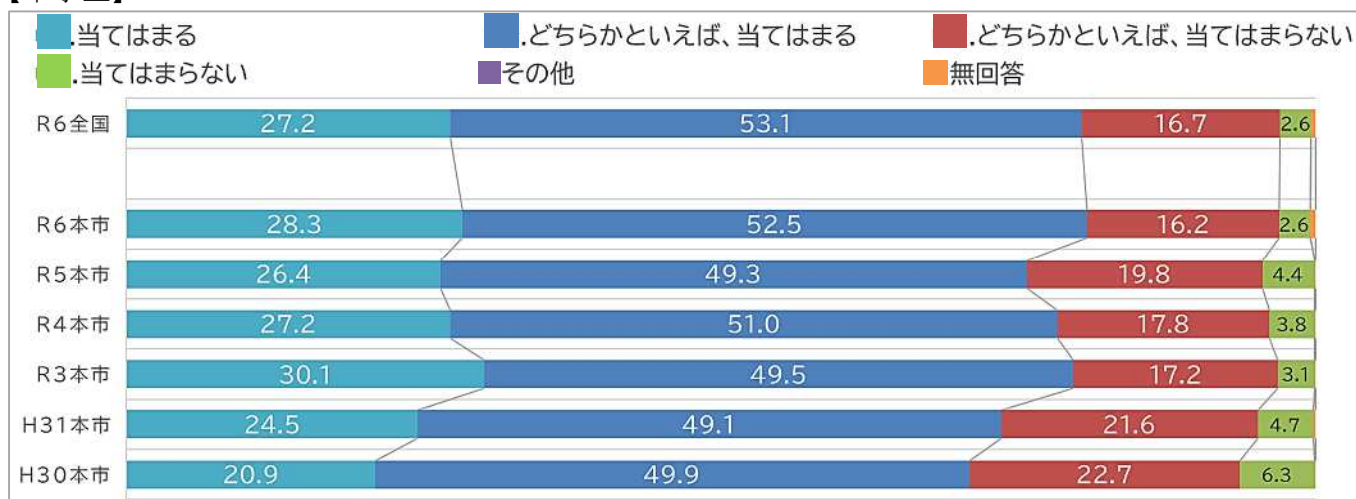
授業で自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか	本市立小学校			本市立中学校		
	児童数割合	平均正答率		生徒数割合	平均正答率	
		国語	算数		国語	数学
発表していた	26.5	77.8	76.1	21.3	66.2	60.9
どちらかといえば、発表していた	39.1	72.7	69.6	42.1	62.8	56.9
どちらかといえば、発表していなかった	23.4	67.7	62.5	25.0	57.3	48.5
発表していなかった	9.4	65.0	59.1	9.6	52.3	43.0
考えを発表する機会にはなかった	1.5	60.8	53.8	1.7	48.8	38.5

○ 5年生までに（1、2年生のときに）受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか

【小学生】



【中学生】



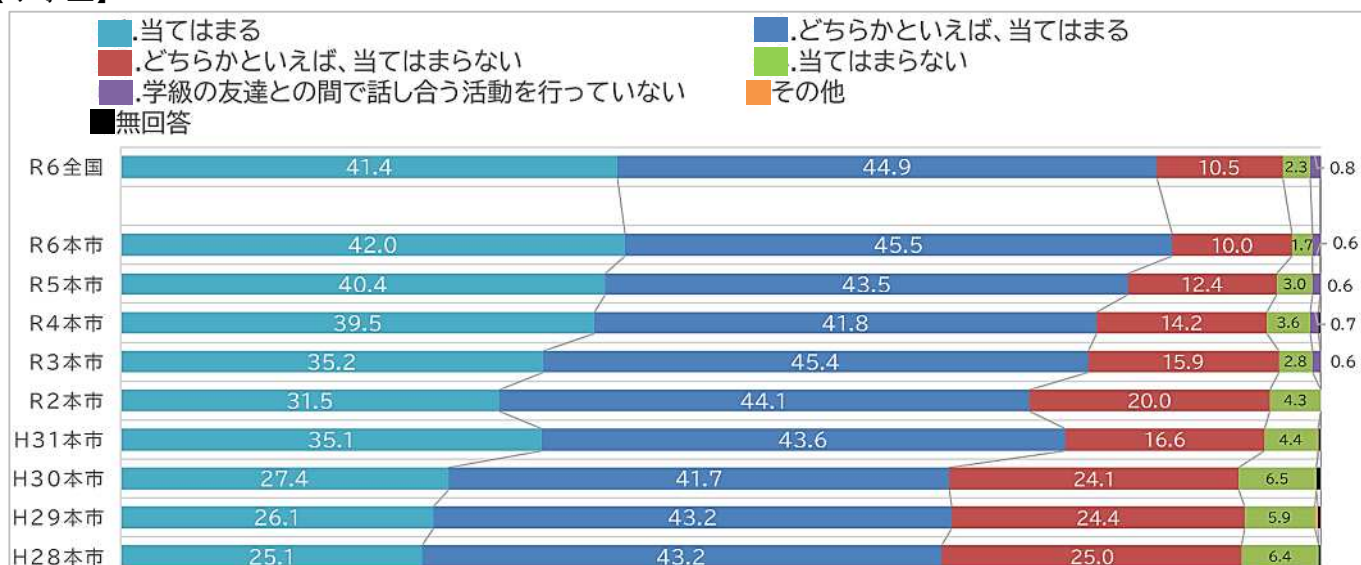
【クロス集計】（単位：％）

授業では課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか	本市立小学校			本市立中学校		
	児童数 割合	平均正答率		生徒数 割合	平均正答率	
		国語	算数		国語	数学
当てはまる	30.9	77.9	76.4	28.5	66.9	62.3
どちらかといえば、当てはまる	50.6	71.7	67.6	52.7	61.4	54.4
どちらかといえば、当てはまらない	16.5	63.3	57.6	15.8	50.9	40.9
当てはまらない	2.0	59.5	54.8	2.5	43.8	33.4

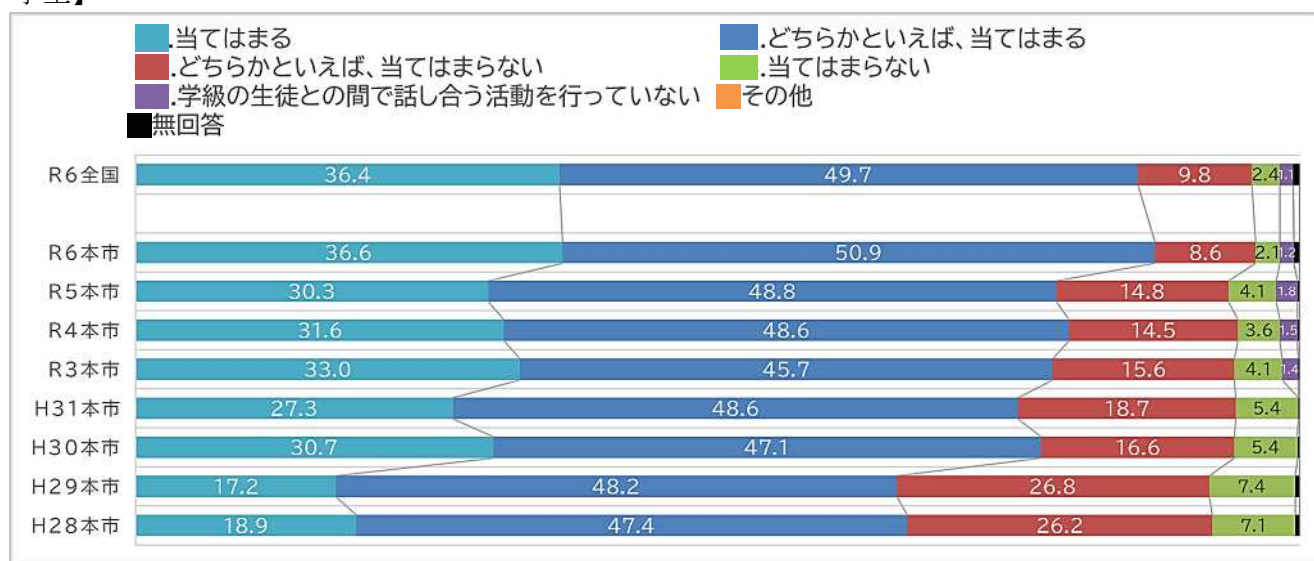
○学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか(R6)

※(R5 まで)学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか

【小学生】



【中学生】

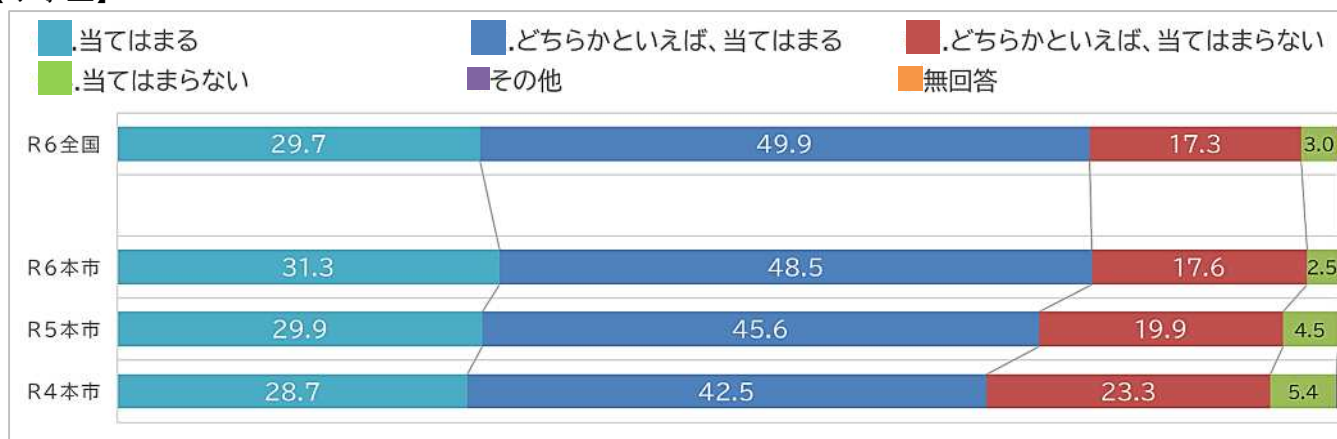


【クロス集計】（単位：％）

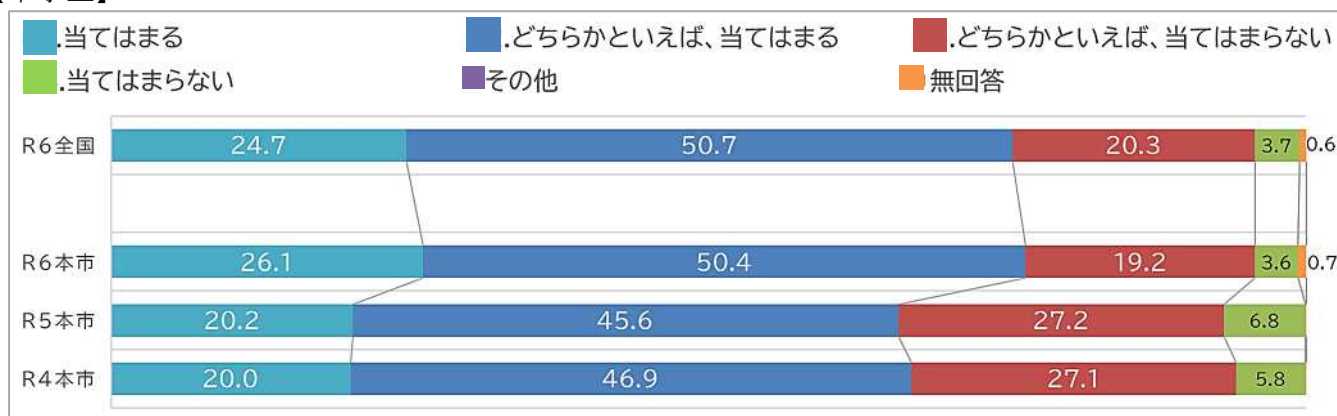
話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、 広げたりすることができていますか	本市立小学校			本市立中学校		
	児童数 割合	平均正答率		生徒数 割合	平均正答率	
		国語	算数		国語	数学
当てはまる	42.1	75.6	72.4	36.8	64.8	58.2
どちらかといえば、当てはまる	45.4	70.6	67.0	51.0	60.4	53.5
どちらかといえば、当てはまらない	10.0	65.8	60.9	8.5	52.6	45.1
当てはまらない	1.7	62.0	58.1	2.1	47.8	39.6

○5年生までに（1、2年生のときに）受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか

【小学生】



【中学生】

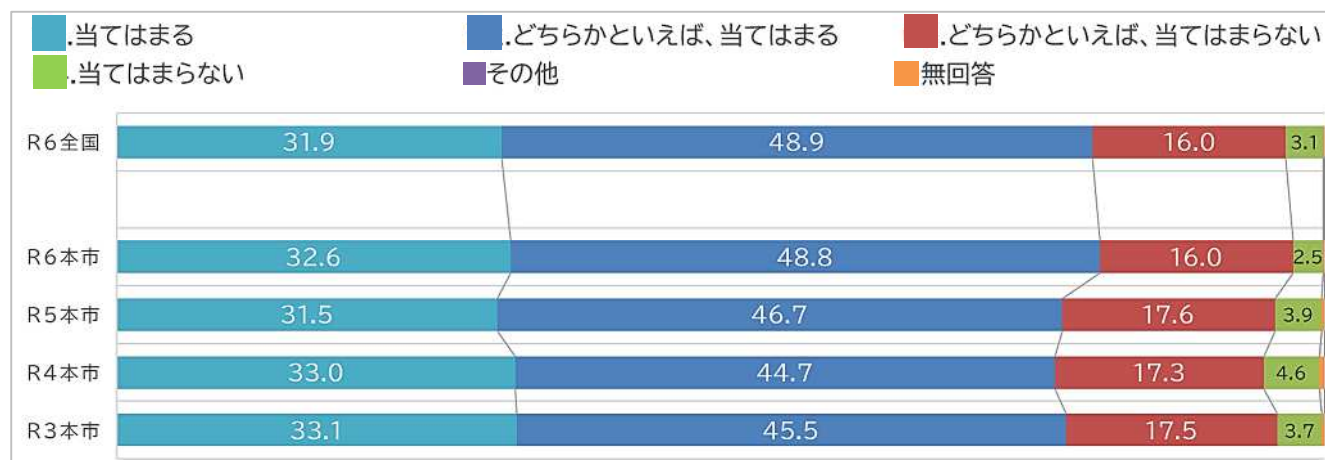


【クロス集計】（単位：％）

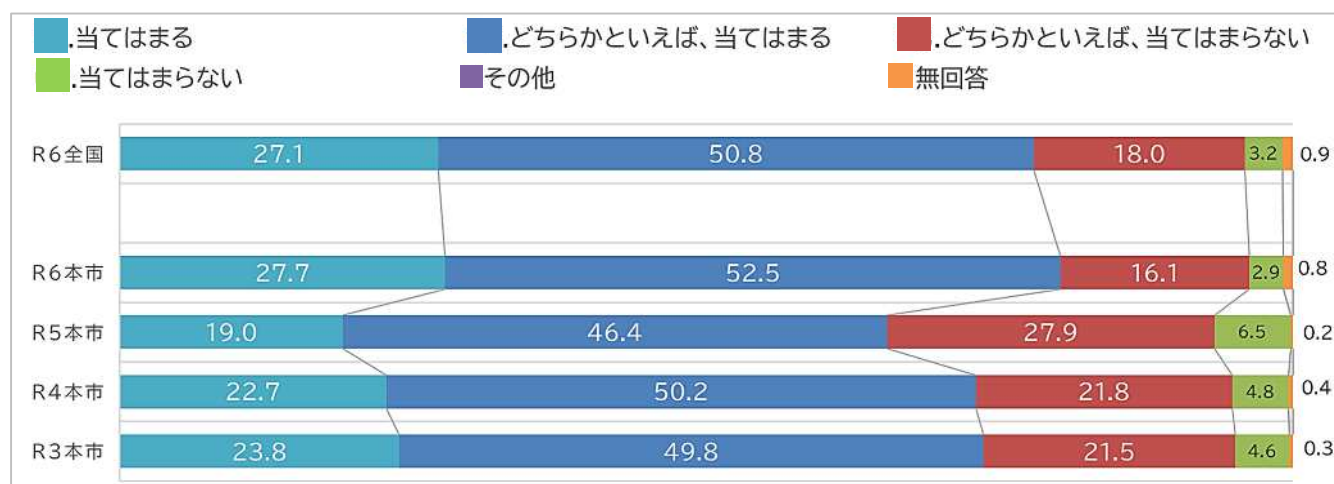
授業では、各教科などで学んだことを生かしなが ら、自分の考えをまとめる活動を行っていま したか	本市立小学校			本市立中学校		
	児童数 割合	平均正答率		生徒数 割合	平均正答率	
		国語	算数		国語	数学
当てはまる	31.4	77.6	75.4	26.1	66.2	61.0
どちらかといえば、当てはまる	48.5	71.3	67.6	50.8	61.6	54.6
どちらかといえば、当てはまらない	17.5	65.1	59.9	18.8	54.4	45.4
当てはまらない	2.4	61.7	56.1	3.4	47.4	39.2

○学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか

【小学生】



【中学生】



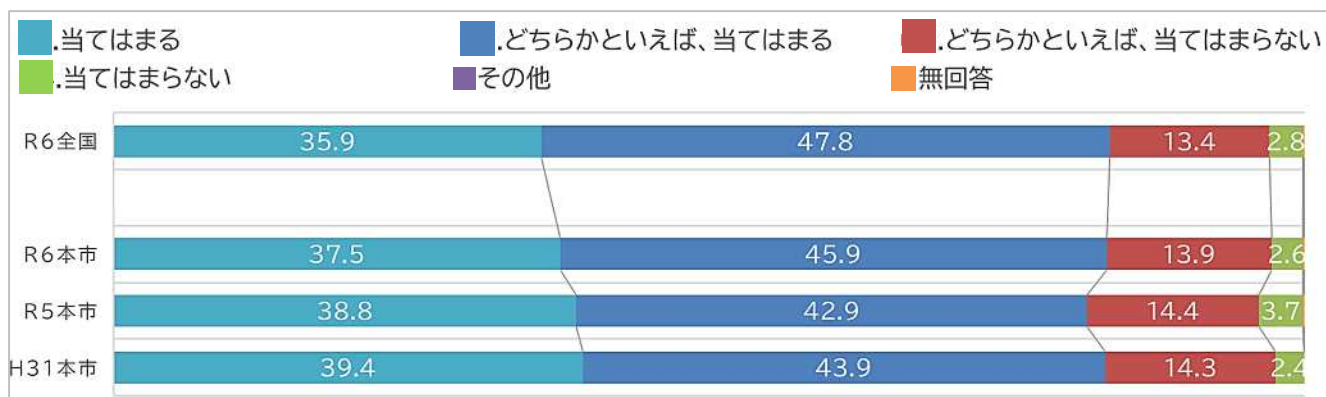
【クロス集計】（単位：％）

学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか	本市立小学校			本市立中学校		
	児童数割合	平均正答率		生徒数割合	平均正答率	
		国語	算数		国語	数学
当てはまる	32.7	76.4	74.1	27.9	65.5	60.4
どちらかといえば、当てはまる	48.6	71.5	67.9	52.7	60.8	53.9
どちらかといえば、当てはまらない	16.0	65.9	60.3	15.8	55.6	46.1
当てはまらない	2.5	61.3	57.3	2.8	46.0	37.1

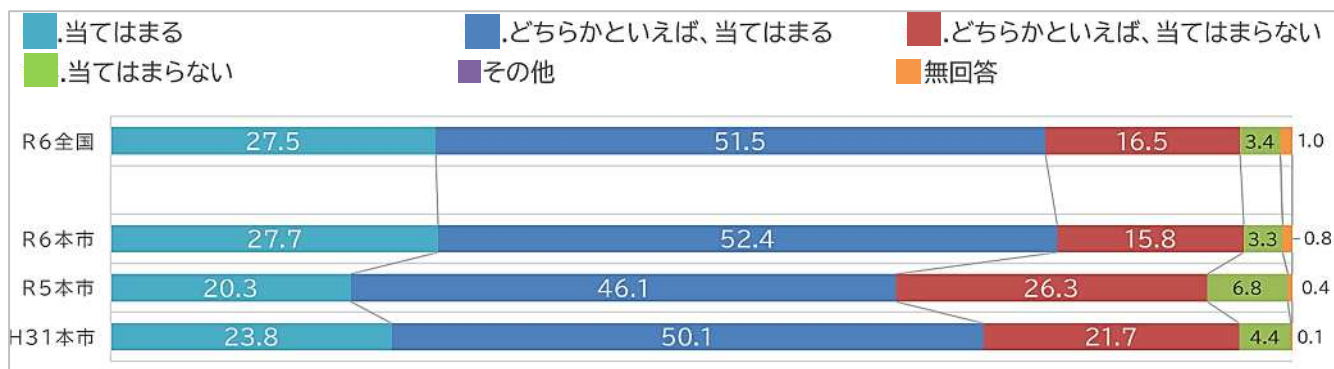
○授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができると思いますか（R6）

※（R5 まで）授業で学んだことを、ほかの学習で生かしていますか

【小学生】



【中学生】

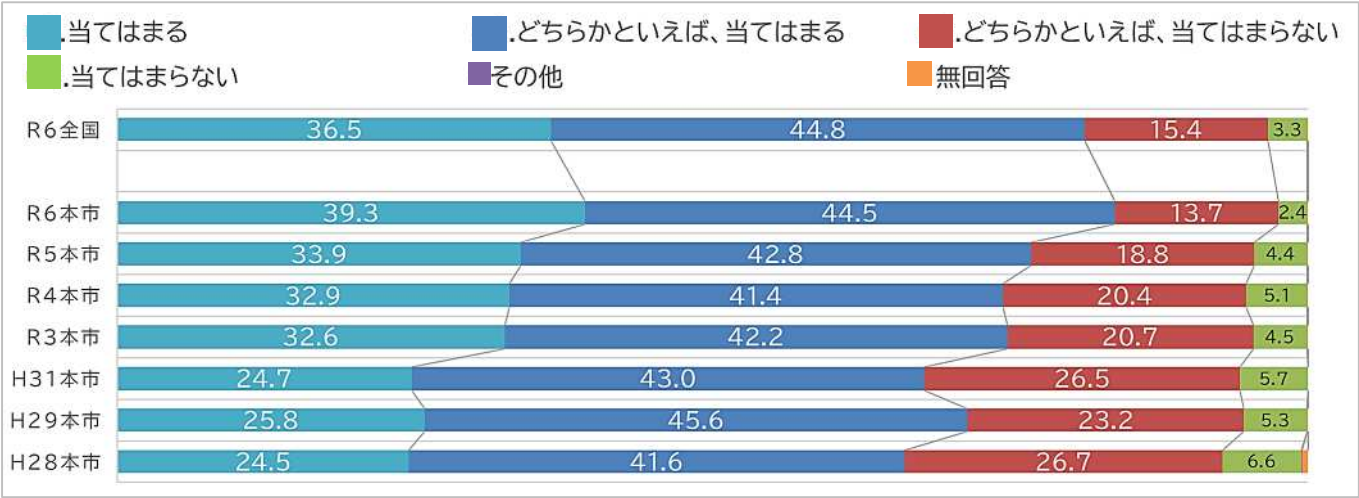


【クロス集計】（単位：％）

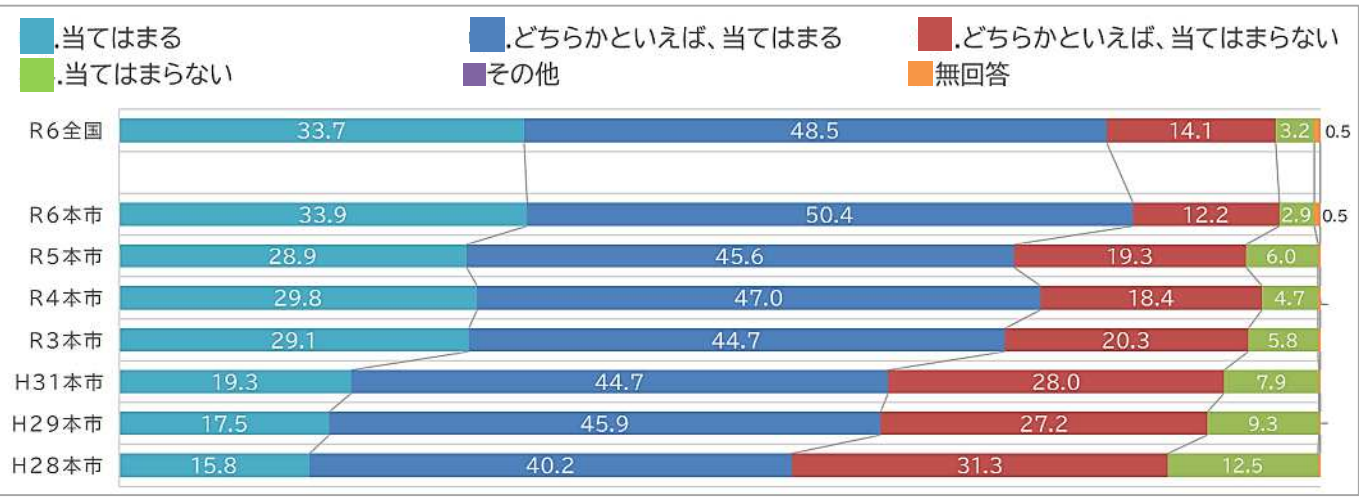
授業で学んだことを、ほかの学習で生かしていますか	本市立小学校			本市立中学校		
	児童数 割合	平均正答率		生徒数 割合	平均正答率	
		国語	算数		国語	数学
当てはまる	37.5	74.9	71.8	27.9	63.6	57.5
どちらかといえば、当てはまる	45.9	71.1	67.5	52.6	60.9	53.8
どちらかといえば、当てはまらない	13.9	68.0	63.6	15.5	58.0	50.5
当てはまらない	2.6	66.4	63.3	3.2	52.4	44.9

○総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか

【小学生】



【中学生】



【クロス集計】（単位：％）

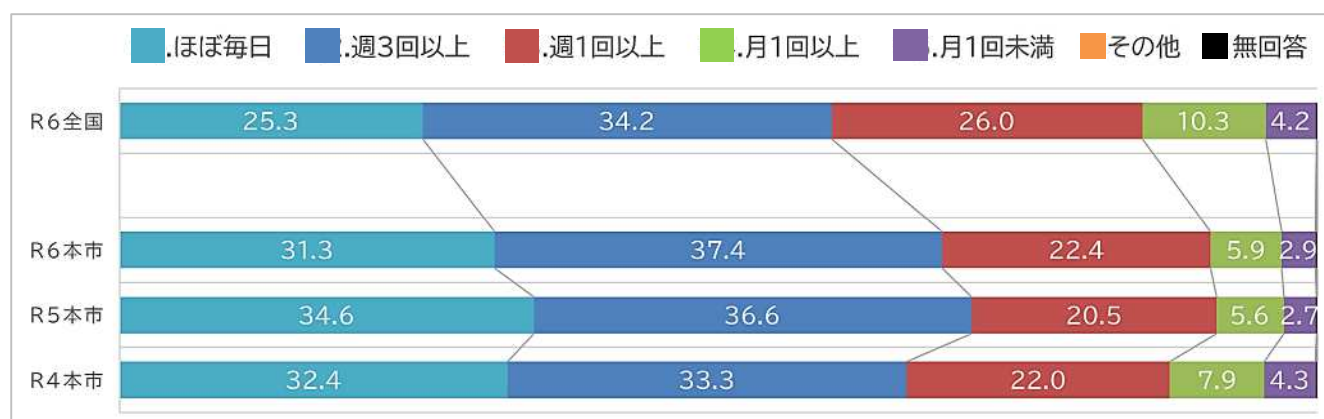
総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか	本市立小学校			本市立中学校		
	児童数割合	平均正答率		生徒数割合	平均正答率	
		国語	算数		国語	数学
当てはまる	39.5	76.1	73.4	34.1	65.3	59.0
どちらかといえば、当てはまる	44.4	70.9	67.4	50.5	60.6	53.7
どちらかといえば、当てはまらない	13.6	65.3	59.9	12.1	52.8	44.4
当てはまらない	2.4	60.5	53.4	2.8	48.6	40.1

(3) ICT活用

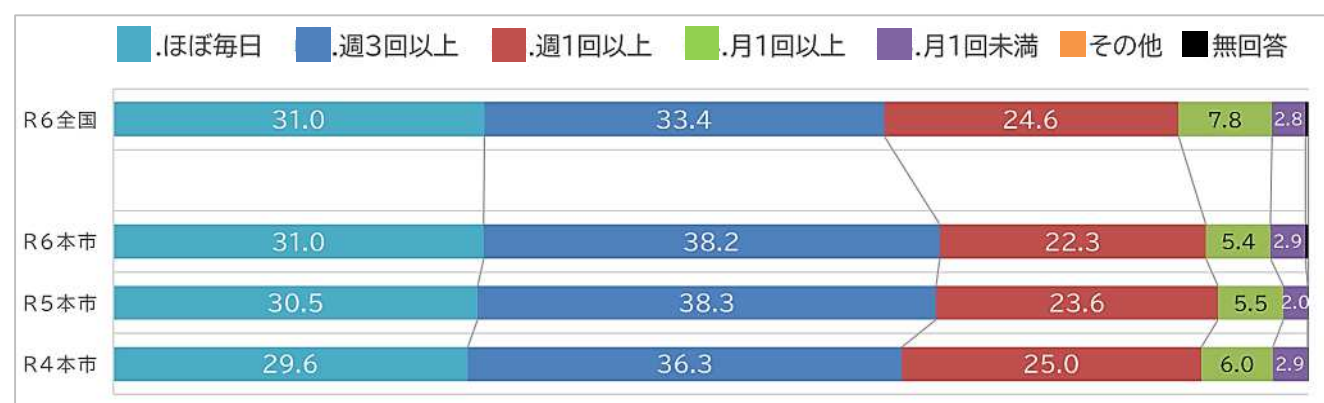
GIGAスクール構想により、各校の環境整備が進んだこともあり、授業中のICT（GIGA端末）の活用頻度は、概ね全国値を上回る結果となりました。また、GIGA端末の家庭への持ち帰りと利用については、各校の実態に応じて実施しています。

○5年生までに（1、2年生のときに）受けた授業でPC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか

【小学生】



【中学生】



【クロス集計】（単位：％）

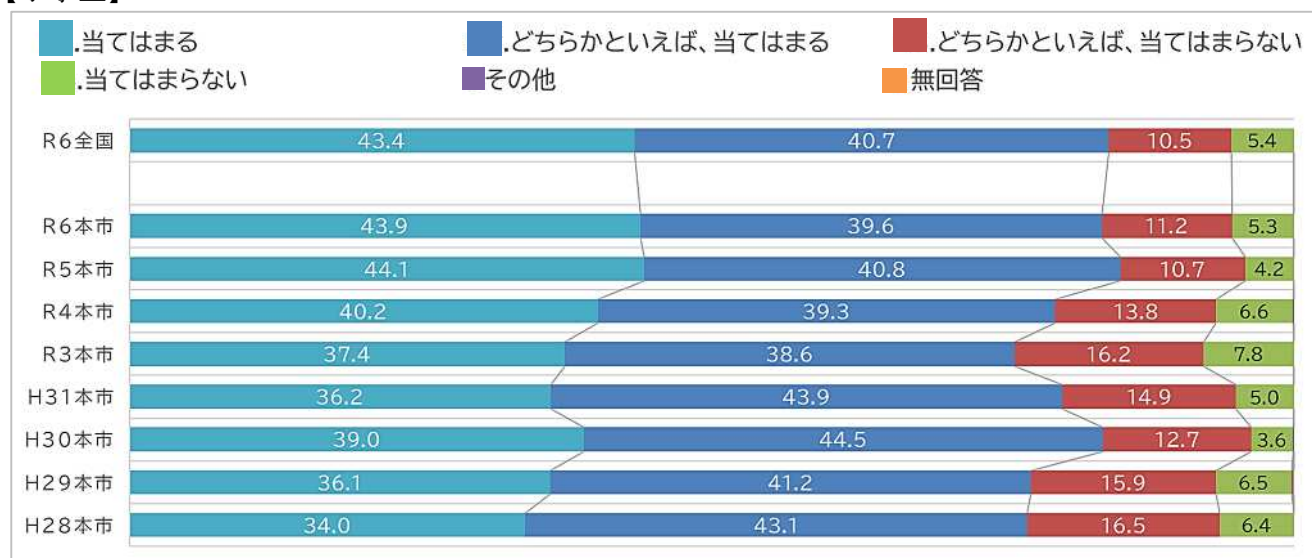
授業でPC・タブレットなどのICT機器を、 どの程度使用しましたか	本市立小学校			本市立中学校		
	児童数 割合	平均正答率		生徒数 割合	平均正答率	
		国語	算数		国語	数学
ほぼ毎日	31.3	71.9	69.0	31.3	64.1	58.1
週3回以上	37.4	73.2	70.0	38.4	61.6	54.6
週1回以上	22.4	72.5	68.4	22.1	59.1	51.5
月1回以上	5.9	68.3	63.6	5.3	53.4	45.3
月1回未満	2.9	59.2	51.9	2.7	42.5	34.7

(4) 自己有用感、規範意識等

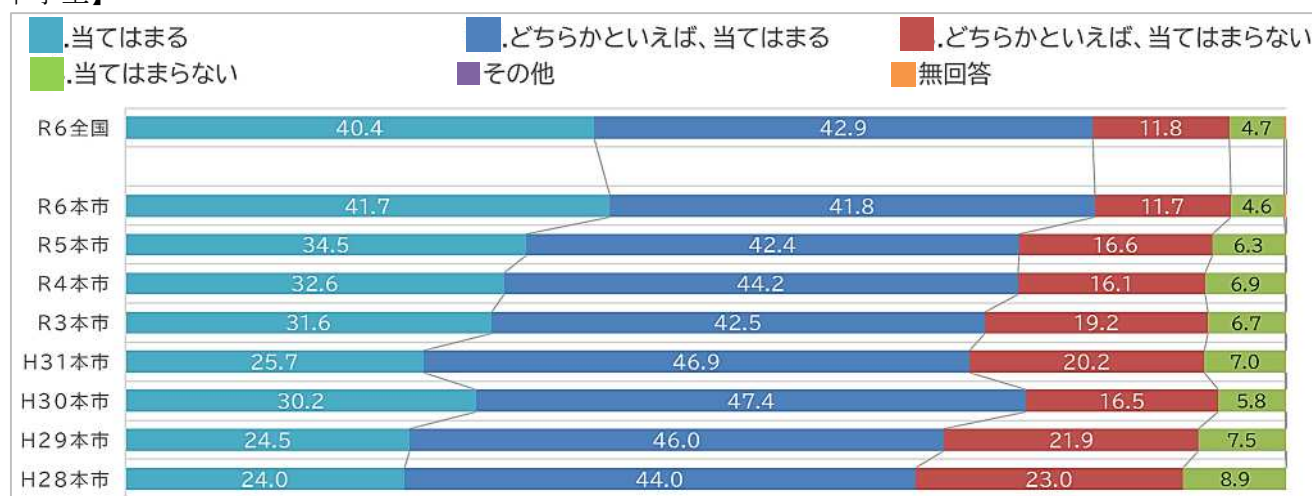
「自分にはよいところがあると思いますか」や「先生はあなたのよいところを認めてくれますか」など、自分を肯定的に捉える質問について、肯定的な回答は全国平均と比べると、小・中学生共にほぼ同程度、本市経年でみると、小・中学校とも微増傾向にあります。

○自分には、よいところがあると思いますか

【小学生】



【中学生】

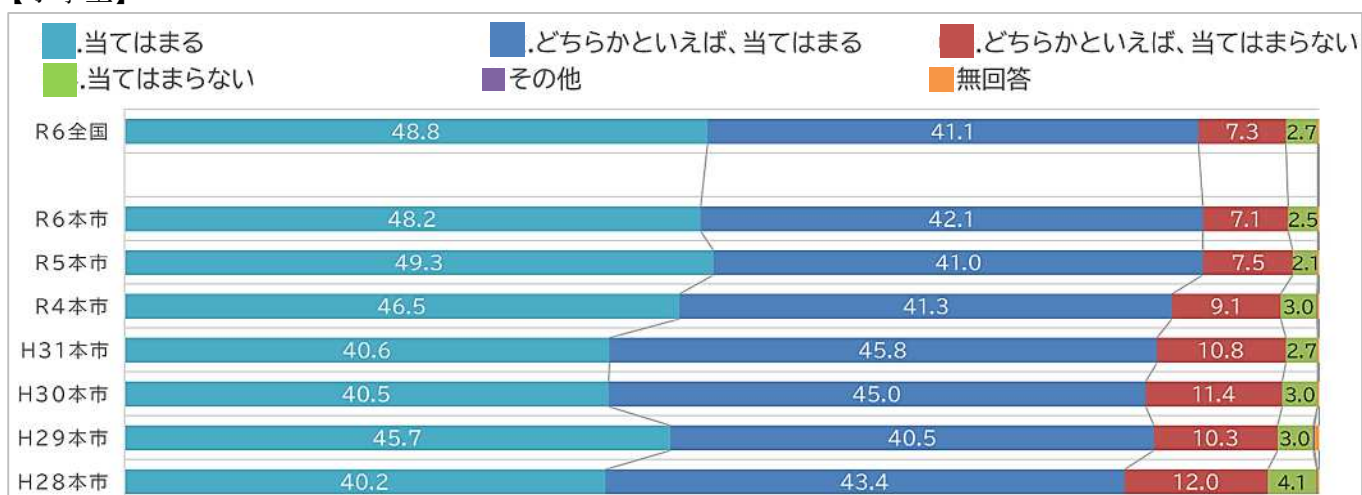


【クロス集計】（単位：％）

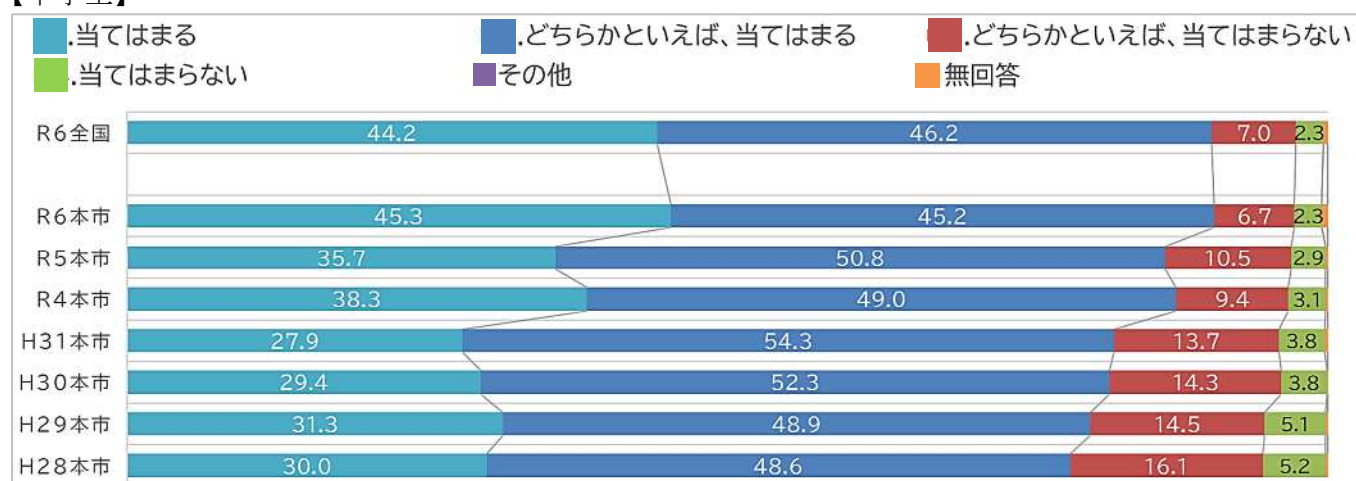
自分には、よいところがあると思いますか	本市立小学校			本市立中学校		
	児童数 割合	平均正答率		生徒数 割合	平均正答率	
		国語	算数		国語	数学
当てはまる	44.0	74.5	71.8	41.9	61.8	55.3
どちらかといえば、当てはまる	39.6	70.9	67.2	41.8	60.5	53.9
どちらかといえば、当てはまらない	11.1	67.2	61.9	11.6	59.7	51.9
当てはまらない	5.3	68.3	62.9	4.5	58.0	47.8

○先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか

【小学生】



【中学生】

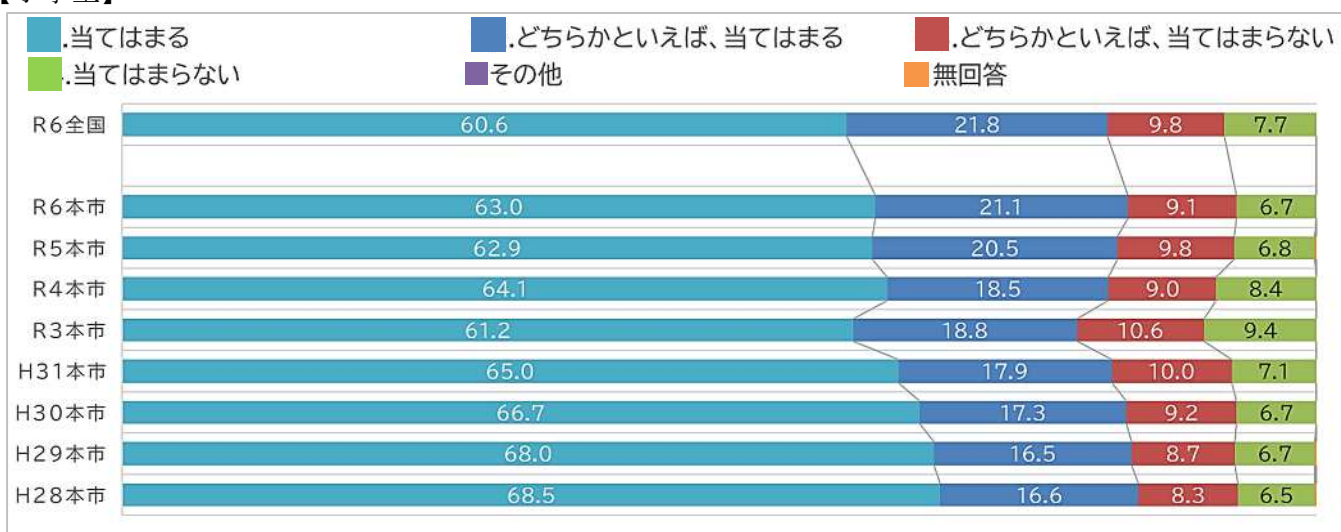


【クロス集計】（単位：％）

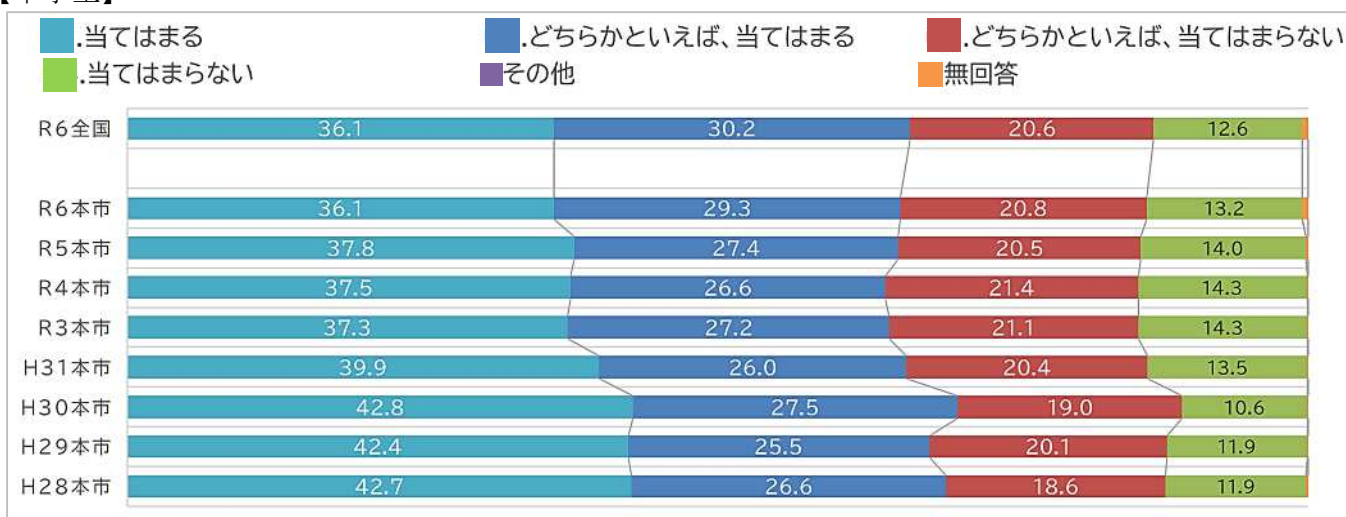
先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか	本市立小学校			本市立中学校		
	児童数 割合	平均正答率		生徒数 割合	平均正答率	
		国語	算数		国語	数学
当てはまる	48.2	74.1	70.7	45.4	62.0	55.5
どちらかといえば、当てはまる	42.1	71.0	67.4	45.2	60.5	53.5
どちらかといえば、当てはまらない	7.1	65.5	61.3	6.7	56.6	49.1
当てはまらない	2.6	66.6	61.9	2.3	58.5	48.9

○将来の夢や目標を持っていますか

【小学生】



【中学生】

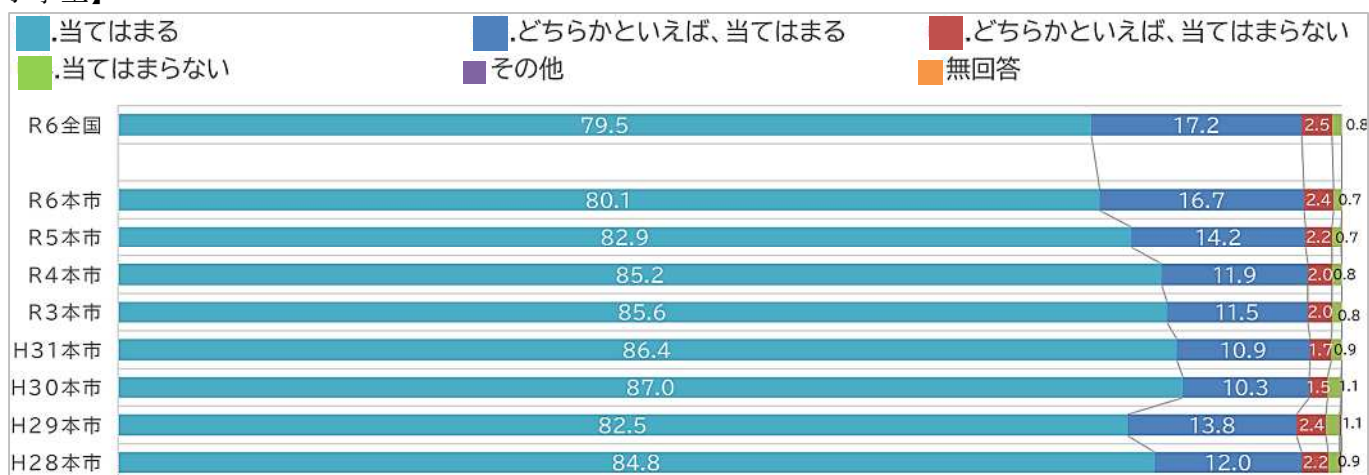


【クロス集計】（単位：％）

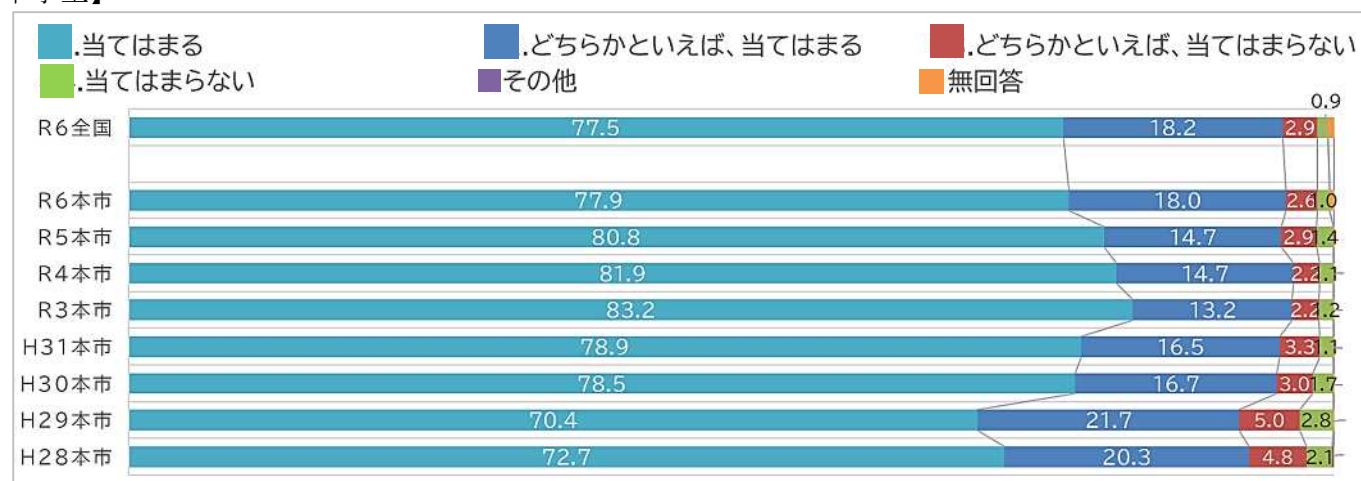
将来の夢や目標を持っていますか	本市立小学校			本市立中学校		
	児童数 割合	平均正答率		生徒数 割合	平均正答率	
		国語	算数		国語	数学
当てはまる	63.0	72.1	68.4	36.1	59.7	52.2
どちらかといえば、当てはまる	21.1	71.8	68.5	29.4	61.9	54.7
どちらかといえば、当てはまらない	9.1	72.9	69.5	20.8	62.5	56.3
当てはまらない	6.7	69.4	66.9	13.2	59.3	53.6

○いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか

【小学生】



【中学生】

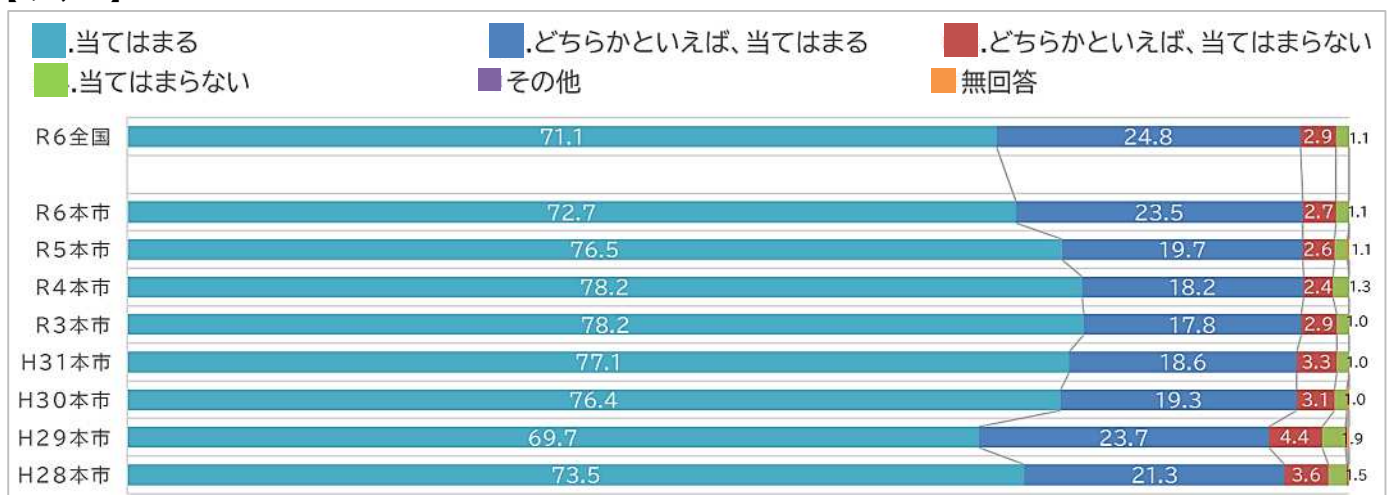


【クロス集計】（単位：％）

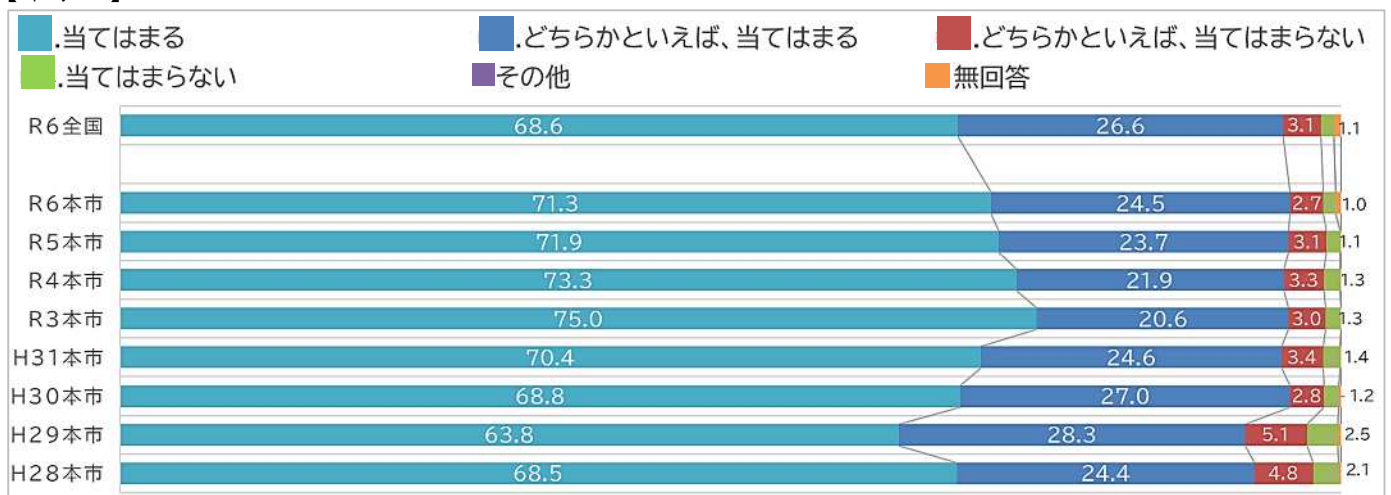
いじめは、どんな理由があってもいけないこと だと思いますか	本市立小学校			本市立中学校		
	児童数 割合	平均正答率		生徒数 割合	平均正答率	
		国語	算数		国語	数学
当てはまる	80.1	72.5	68.6	78.1	60.8	53.6
どちらかといえば、当てはまる	16.8	70.2	68.0	17.8	61.2	55.6
どちらかといえば、当てはまらない	2.4	67.9	66.1	2.6	60.8	55.4
当てはまらない	0.7	66.6	65.8	1.0	55.9	53.6

○人の役に立つ人間になりたいと思いますか

【小学生】



【中学生】

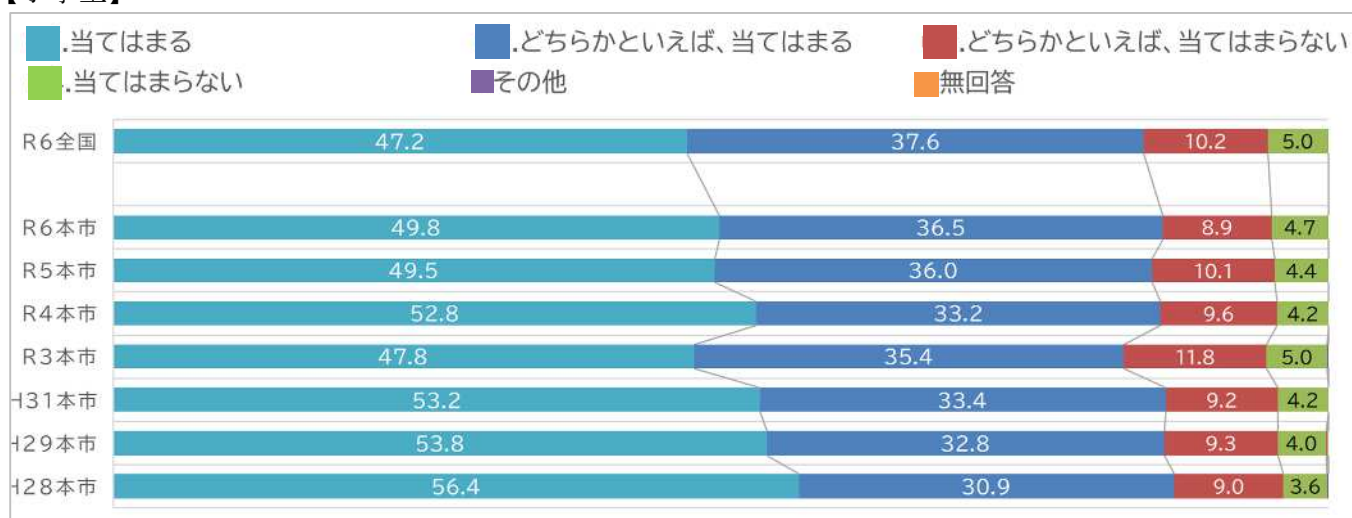


【クロス集計】（単位：％）

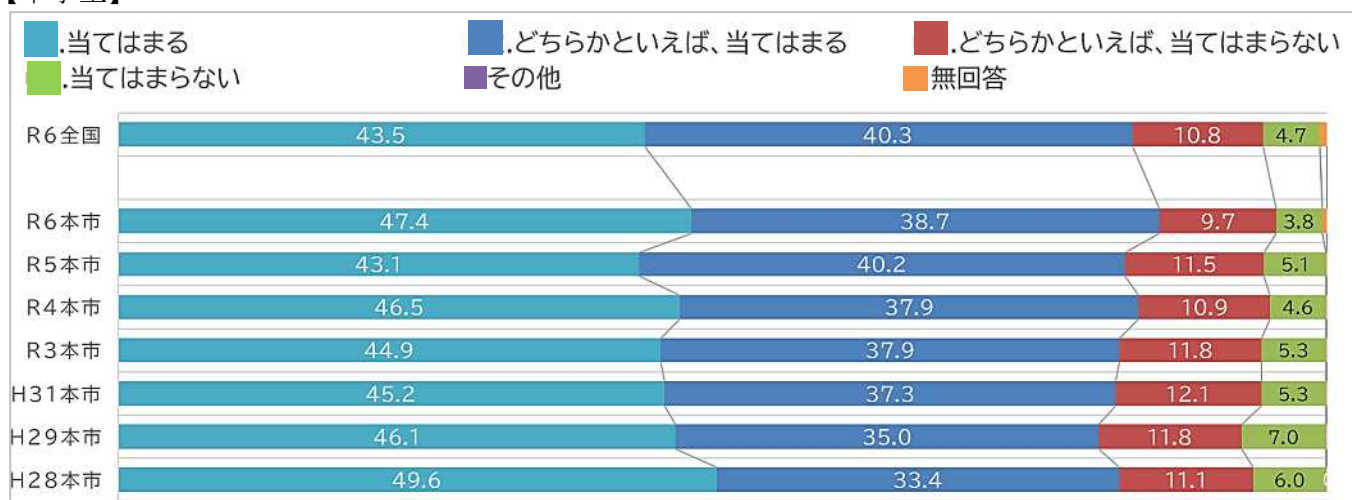
人の役に立つ人間になりたいと思いますか	本市立小学校			本市立中学校		
	児童数 割合	平均正答率		生徒数 割合	平均正答率	
		国語	算数		国語	数学
当てはまる	72.8	73.4	69.9	71.4	61.9	55.0
どちらかといえば、当てはまる	23.5	68.7	65.1	24.5	58.4	51.5
どちらかといえば、当てはまらない	2.7	65.0	60.4	2.6	55.7	50.0
当てはまらない	1.1	59.5	58.6	1.0	57.0	49.8

○学校に行くのは楽しいと思いますか

【小学生】



【中学生】



【クロス集計】（単位：％）

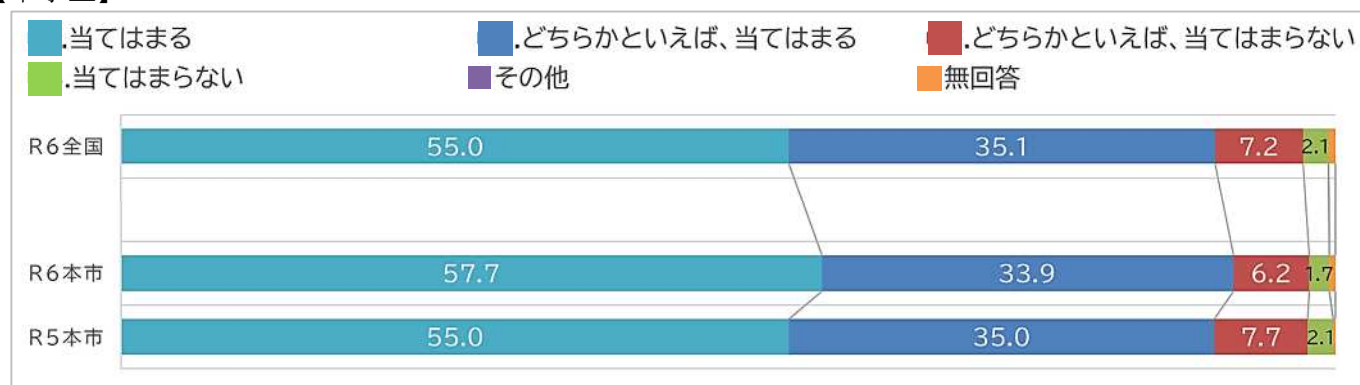
学校に行くのは楽しいと思いますか	本市立小学校			本市立中学校		
	児童数 割合	平均正答率		生徒数 割合	平均正答率	
		国語	算数		国語	数学
当てはまる	50.0	74.0	70.6	47.9	61.3	54.7
どちらかといえば、当てはまる	36.5	70.6	67.1	38.5	61.5	54.6
どちらかといえば、当てはまらない	8.8	70.5	65.4	9.5	58.7	51.3
当てはまらない	4.6	63.7	60.9	3.7	53.6	45.7

○友達関係に満足していますか

【小学生】



【中学生】

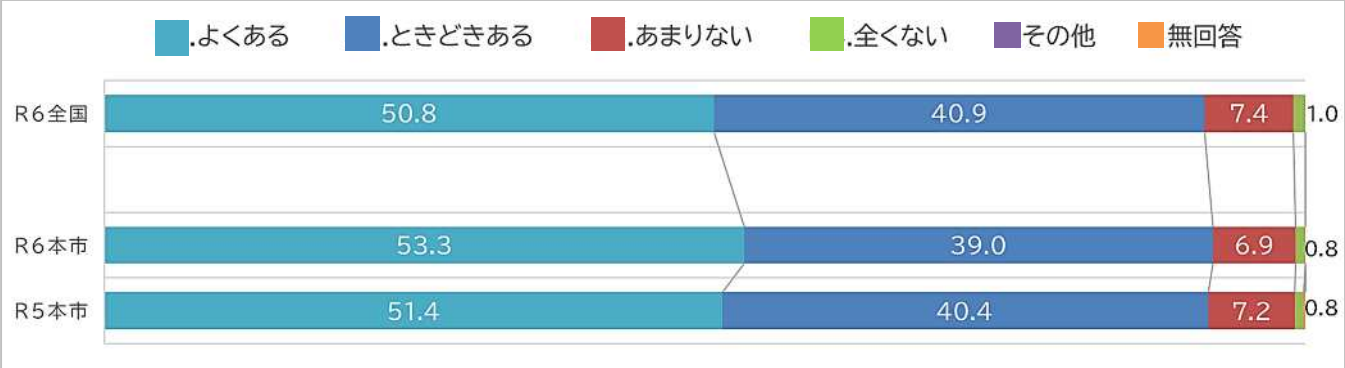


【クロス集計】（単位：％）

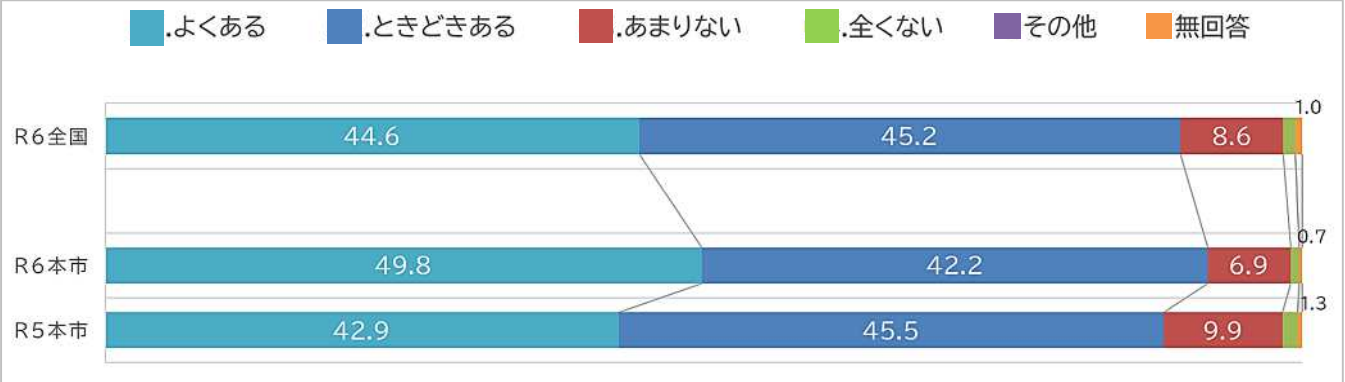
友達関係に満足していますか	本市立小学校			本市立中学校		
	児童数 割合	平均正答率		生徒数 割合	平均正答率	
		国語	算数		国語	数学
当てはまる	63.8	71.4	68.0	57.8	59.9	53.4
どちらかといえば、当てはまる	28.4	72.9	69.1	33.8	62.4	55.4
どちらかといえば、当てはまらない	5.8	73.8	70.4	6.2	62.6	53.6
当てはまらない	1.9	70.0	66.3	1.7	56.7	47.9

○普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか

【小学生】



【中学生】



【クロス集計】（単位：％）

普段の生活の中で、幸せな気持ちになることは どれくらいありますか	本市立小学校			本市立中学校		
	児童数 割合	平均正答率		生徒数 割合	平均正答率	
		国語	算数		国語	数学
よくある	53.3	72.7	68.8	50.0	61.1	53.8
ときどきある	38.9	71.5	68.3	42.1	60.9	54.3
あまりない	7.0	69.7	67.0	6.8	60.2	53.9
全くない	0.8	65.8	60.4	0.7	49.6	45.7

4 京都市の学力向上の取組

本市では、ICTも活用しながら、学習の基盤となる資質・能力の育成、多様な一人一人の興味・関心等に応じ、意欲を高め、やりたいことを深められる学びを提供するため、様々な取組を推進しています。以下に、その一部をご紹介します。

(1) 京都市小中一貫学習支援プログラム

子どもたちに自学自習の習慣化（計画→事前学習→確認テスト→結果→事後学習）を図るため、独自のプログラムを実施しています。

確認テストを通して、子どもたちがつまずきやすいポイントや定着に課題がみられる単元・領域に関するデータを蓄積し、予習・復習教材に生かすとともに、それらのデータや全国調査の結果をもとに、多面的な分析を行い、授業改善等に生かしています。

ご家庭においても、確認テストの実施後に返却される、苦手やつまずきなどがまとめられた結果資料を子どもたちと一緒にご覧いただき、自学自習の習慣化に向けて、話し合ってみてください。

また、家庭学習のヒントをわかりやすくまとめた冊子「自学自習のすすめ」を、小・中学校入学時に子どもたちへ配布しています。是非ご一読ください。

(2) 小中一貫教育、幼保小の架け橋プログラム（保幼小連携・接続）の推進

全ての中学校区において、義務教育卒業時の「目指す子ども像」とその実現に向けた「付けたい資質・能力」などを示す「小中一貫教育構想図」を作成するなど、小中一貫教育の充実を図っています。

また、幼稚園・保育園（所）・認定こども園等の就学前施設で培われた学びと育ちを小学校教育に円滑に接続できるよう、就学前施設と小学校が連携するとともに、小学校では入学直後の子どもたちも安心して学習に取り組める環境を整えるため、「スタートカリキュラム」の実践を進めています。さらに、令和7年度からは、幼保と小の学びの連続性・一貫性を確保し、特に、生涯にわたる学びや生活の基盤をつくるために重要な時期である「架け橋期」（義務教育開始前後の5歳児と1年生の2年間）の教育を充実させ、「主体的・対話的で深い学び」の実現を図るため、全ての小学校区において、「幼保小の架け橋プログラム」を実施することとしています。

(3) 各教科等の授業の改善・充実

これからの学校教育は、子どもたち一人一人に応じた「個別最適な学び」と、子どもたちが共に学び合う「協働的な学び」が求められます。そうした学びを一体的に充実させた「主体的・対話的で深い学び」の充実に向け、各校でICTも活用しながら、授業改善を進めています。教師の一方的な教え込み（レクチャー）型の授業ではなく、問題解決・探究型の授業の中で、子どもたち同士が教え合う、学び合うことによって、自ら必要な力を獲得する授業への転換を図っています。

(4) 家庭学習への支援（保護者、地域との連携）

学校運営協議会^{※1}をはじめ、地域・保護者・学生の皆様の協力をいただき、「放課後まなび教室」^{※2}、「未来スタディ・サポート教室」^{※3}など、基礎学力の定着と家庭学習の充実を進めています。

各校の事情に応じて、GIGAスクール構想により配布された一人一台端末の家庭への持ち帰りも進めています。家庭に持ち帰った際は、その日の復習等に活用いただくことはもちろん、デジタルドリル等で一人一人のペースに応じた予習等にも活用いただけます。

また、地域の皆様が主体となって開催いただく自然体験や伝統文化体験、防災・安全の取組等は、地域の方々に支えられているという意識や、地域の一員として主体的に関わろうとする意識を子どもたちに育む貴重な機会となっており、学ぶ意欲、自尊感情、自己有用感の高まりにつながっています。

その他、「本大好きな」子どもの育成を目的とする読書ノートを活用した「めざせ100冊！読書マラソン」運動^{※4}や規範意識を育むためのあいさつ運動、情報モラルに関する取組など、学校、家庭、地域が一体となった着実な取組が、子どもたちの学力を支えています。

※1 「学校運営協議会」…令和6年4月1日現在、すべての京都市立学校・園（256校園）に設置。

※2 「放課後まなび教室」…平成21年度から全ての小学校区で、学校運営協議会や保護者、地域、学生等の方々の参画を得ながら、放課後の子どもたちに学習の習慣づけを図る『自主的な学びの場』と『安心・安全な居場所』として、運営しています。

※3 「未来スタディ・サポート教室」…平成29年度以降すべての中学校で、放課後等に基礎学力の定着を図るための学習支援を行っています。

※4 「めざせ100冊！読書マラソン」運動…100冊読破達成児童数は令和5年度26,885人（全児童の47.3%）でした。